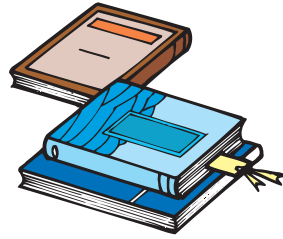


ほんの森

図書館 ☎ 84-3311



図書館休館日

毎週月曜日

開館時間延長 7月1日～8月29日までの平日のみ午後7時まで開館します。

日曜映画会

『ハリーマンと炎のゴブレット』

と き 7月20日(日)
午前10時・午後2時

上映時間 2時間37分

ところ 2階ハイビジョンホール

定員 各回 先着100名
※整理券は不要です



金曜映画会

『評議』

と き 7月25日(金)
午後2時から

上映時間 1時間2分

ところ 2階ハイビジョンホール

定員 先着100名
※整理券は不要です



文芸

◆俳句

図書館の窓に射し込む新樹光
池田 逸子

生存の法に従きしか残る鴨
伊藤 敬子

キューイ棚葉の反り返り南吹く
今関満喜子

リハビリへ同じ道行く夏つばめ
魚地 照子

明日は晴心に決めて髪洗ふ
江森 悦子

栗の花紙綵は知らぬ現代子
川島 孝夫

持病薬また一つ増え梅雨に入る
川島 通訓

浮標に乗り毛繕いするつばめかな
桑名 大行

俯瞰する臥龍の藤や谷の寺
向後 寛

借景の山の重さよ梅雨に入る
越川せつ子

釣竿や静けさ一人五月釣る
小松 藤男

何時からか無人灯台勿忘草
佐瀬 輝夫

梅雨深し微熱の翁臉閉じ
椎名万里子

薫風や一村ぬけて鎮かなり
穴倉 道子

老いの身の無職も淋しい梅雨篋り
鈴木とし子

南風や岬に高さ遭難碑
玉虫 栗扇

戦乱の昭和忘れず芋の花
土屋 義明

白南風や渦潮のぞく帽おさへ
戸村 静華

紫陽花の七変化して梅雨あける
長谷川正子

道眞の御社の槁藤の花
福田 幸子

六月の医師の笑顔に救ひあり
布施 和代

淋しさの数を重ねてカーネーション
山口 とし

紫陽花を頬で撫でてる白い杖
山口 一秋

山蟻下は天敵あとしざり
渡部 和秋

◆短歌

この藤は亡父の植ゑたる樹と言ひて
息は丹念に剪定しをり
吉岡 信子

右の手を病みある友が左手に
折りて作りし壁掛け賜ふ
池田 春江

空色に淡く咲きたるネモフィラ
山の斜面を被ひ咲きあつ
鈴木まさ子

十ヶ月の男孫はボーロ大好きで
袋を見ると身を乗りいだす
田崎 尚美

新緑の山路を彩ふ紫の
藤の花房段なし垂るる
佐瀬 初音

白き貝埋もるるあたりやや乱れ
九十九里浜風紋つづく
斉藤つね子

昭和の日戦火くぐりて生き来せし
あまたの人等皆老いたりき
安田マサ子

絹糸の如き雨降り紫陽花の
色づき初めて梅雨に入りたり
土屋 好

雛げしの細きうなじにあわあわと
透ける花びら風にまかせて
越川 福子

さくらの葉吹さくる風にさゆれつつ
緑したたる光りを放つ
永藤 滋

背に負ふバッグを褒めてくれしと言ひ
息は色違ふバッグを呉れぬ
押尾 輝子

足利のフラワーパーク訪れて
咲きの盛りの藤を仰げり
平山 芳子

山並の稜線丸くつづきあて
天城の空も丸い気のせり
西山満里子

雪崩注意の標識見つ福島の
新芽けぶれる山道をゆく
八角 三枝

ひさ久に幼訪れ腰痛を
忘れて吾は抱きてしまへり
芹川 初子